

コンパドレー (ゾイシアグラス)



コンパドレーはあらゆる日本芝を使用する計画のターフに播種することができます。この品種は一般品種の日本芝や他の日本芝の置き換えに大変適しています。ゴルフ場のティー、フェアウェー、ラフ、競技場に高品質の日本芝のターフを提供することができます。

葉の幅ときめ細かさ

コンパドレーの親株の葉の幅、きめ細かさは荒い日本芝といわれる一般種の日本芝のおよそ半分の幅といえます。コンパドレーは中ぐらいか中細の葉を持つメイヤー種と大変似ています。(頻繁な刈り込みと低い刈高、高い播種量によりより細かい葉になります)

刈り込み推奨値

ターフになったコンパドレーは一般的に週1回、芝の用途により12~60mmの刈高で刈り込んでください。より頻繁に刈り込むことにより10mm以下の刈高で最高のターフの管理が可能となるでしょう。より頻繁な刈込により密度の高い優れた日本芝のターフになります。

播種量:

5~10 g/m²の播種量を推奨いたします。より高い播種量と通常の管理計画で高い密度と中細の葉のターフになります。

播種方法推奨:

播種方法は肥料散布期による土壌表面への全面散布後、軽いレーキングとカバーなどのマルチ。あるいは専用シーダーの利用。ハイドロシーダーによる吹きつけは成功率が大変高いです。ゾイシアの種子の発芽には日光が必要です。ですので、播種は土壌表面に近いところをすることをお勧めします。土中深くに播種いたしますと発芽とターフの形成に時間がかかります。土壌表面に近いところに散布しますと、大変乾きやすくなりますので頻繁に散水することが必要です。また発芽直後の幼芽が乾かないように十分に注意してこまめに散水しましょう。土壌下5cmの温度が20~26℃の時が最も早く発芽いたします。もし早い発芽を望む場合は、播種前に種子を広げて

日光に48時間さらすか、ぬるま湯に48時間つけて再度乾かした後に播種することをお勧めいたします。これらの前処理をすることにより発芽にかかる日数を半分にすることができます。

芝質、色そして密度

ゾイシア種とその品種はそれぞれ密度と葉の細かさ、色、芝質が違います。コンパドレーはその中でも濃緑色と密度を重点に品種改良されています。

ゾイシア種子の形態

ゾイシア種子は裸の自然の状態の種か、コーティングされた状態で供給されています。コンパドレーの裸の種は発芽率を上げと発芽期間を短くするために処理を行っております。コーティングのコンパドレー種子は粘土と肥料成分でコーティングして粒子の大きさを大きくして播種をしやすくして発芽率が上がるようにしております。コーティングの部材は散水で分解して落ちるようになっています。播種量は裸の種より歩留まりが良くなるため、変える必要はありません。

TECHNICAL PRODUCT SPECIFICATIONS

発売開始	2005年
種子粒数	2,250粒/g
一般的な発芽日数	14-21日(晩春)
ターフ形成率	優秀 73.1%試験中最高
NTEP芝質評価	良い 4.8(11試験地)
(2002-2005 A試験)	
遺伝的緑色	中濃緑色 6.3
夏場の抵抗性	優秀
葉の細かさ	中細 4.8
芝密度	良い 6.0
春の色上がり	大変良い 4.9
擦り切れ抵抗性	大変良い 12mmFW
pH適応	5.0-8.2
冬場の抵抗性	大変良い
低刈抵抗性	良い 12mm以下
垂直成長度	遅い
秋の色	良い 4.9
ラージパッチ抵抗性	良い 6.0
ダラスポット抵抗性	優秀 7.8